

YOKOSHIN NEWS

令和3年12月24日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

—2021年10～12月期実績、2022年1～3月期予想—

横浜信用金庫（理事長 大前 茂）では、定例（四半期）の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】

今期は全ての業種で前期より持ち直し、来期も改善の見込み

- 今期（2021年10～12月期）の全業種総合業況判断DIは、前期比10.4ポイント上昇の-7.0と持ち直した。来期は、今期比0.8ポイント上昇の-6.2と改善を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは、前期比11.2ポイント上昇の-7.6となった。来期は、今期比3.2ポイント上昇の-4.4を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは、前期比9.9ポイント上昇の-6.7となった。来期は、今期比0.4ポイント低下の-7.1を見込んでいる。

【特別調査】「2022年(令和4年)の経営見通し」

- ・2022年の日本の景気見通し やや悪い (38.6%)
- ・2022年の自社の業況(景気)見通し 普通 (50.7%)
- ・2022年の貴社の売上額の伸び率 変わらない (47.2%)
- ・自社の業況が上向く時期 1年後 (23.4%)、すでに上向いている (22.3%)

〔特別項目〕原材料・仕入価格上昇への対応

特に対応していない (33.7%)、経費の削減 (31.1%)

<調査概要>

調査対象：当金庫取引先（法人・個人事業者）679先 有効回答数：676先
調査方法：営業店職員による聞き取り調査 調査時期：令和3年12月上旬

※その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒[景気動向調査](#)」をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先 経営企画部：望月、石井 電話：045-680-6912



横浜信用金庫